

すもよい。

**関取** 掌を内側にし、五指の指頭を下にさした両手を左右に並らべて腹にあてがい、角力取りのまわしの上につける「下げ」を表わし、左右両手を拳にして、夫々の膝をたたく。——男性

**絶縁** (イ) 「関係」の手まねの鎖形に組んだ両手を切り離す。(ロ) 左手の掌を右胸脇下にぴったりつけ、五指の指頭を左にさし掌を内側にした右手を上から左へ斜めに踏切りの遮断機を降すように空間を切り落す。

**絶交** 「絶縁」と同じ手まね。

**絶対** 「必ず」のイの手まね。「決まっている」と同じ手まね。

**絶望** (イ) 未来—むづかしい—諦らめる。

(ロ) 「がっかり」と同じ手まね。

**説明** 掌を上向けた左手の上を、掌を左側にした右手の五指の指頭で軽く二、三度たた

くようにする。一般に物事を細く説き聞かせる時に、覺か机の上へする手の身振。

**説教** 「説明」と同じ手まね。

**背広** 指頭を上にした両手の親指で夫々胸の左右に背広服の波形の折襟を描く。

**善** (イ) 「よろし」の手まね。

(ロ) 道徳—に叶う。

**膳** 食事(左手の掌を食器として右手で食物を口に運ぶ真似)—机。

**詮方なし** むづかしい—諦める。

**選挙** 掌を下に向け五指の指頭を集め合わせた左右両手(左右夫々の手に票を持つ心持)を交互に票を函にさし入れる身振。

**先月** 月—一つ—過去

**洗濯** 両手で衣類を持ってもみ合わせ洗う身振。

**戦死** 戦争—死ぬ。

**専心** 「一生懸命」の手まねをして、五指

の指頭を前方にさし掌を左側にした右手をま  
っすぐに前方へ突き進ませて行く。

前進 (イ) 五指の指頭を上をさし掌を前向  
けた両手を左右に並らべて一列横隊の形をつ  
くり、そのまま前へ押し出す。(ロ) 五指の指  
頭を上をさし掌を左側にした右手、五指の指  
頭を上をさし掌を右側にした左手。この両手  
を前後に並らべて一列縦隊の形をつくり、前  
へ進ませて行く。

潜水艦 掌を上向け五指の指頭を右にさし  
た右手を水面として、その手前内側に指頭を  
上にさした右手の人差指を下からのぞかし  
(潜望鏡) 右へ移動させる。

戦争 (イ) 「争う」の(イ)と同じ手まね。

(ロ) 「争う」の手まねでは、左右の人差指の  
二指だけを打ち合わせるがこれを左右両手の  
五指で同じ要領で打ち合わせる。(イ)を複数的  
に表わしたもの。

全体 「凡て」と同じ手まね。

宣伝 「広告」と同じ。

センター 統べる一処。

船頭 両手で艦を漕ぐ身振り一男性

専門 (イ) 医学専門に勉強する。医学一だ  
け(唯一つ)一勉強。(ロ) 耳鼻専門科。耳一  
鼻一医者。(イ) 時計専門店。時計一だけ一  
店。一全滅 死ぬ一死ぬ一凡て一なくなる(ロ)

ソ

象 掌を前向けて拳にした右手を手首辺り  
のところを鼻頭につけ、上下にぶらぶらさせ  
る。象の鼻の模写。

相違 掌を下に向けて、指頭を前方にさし  
た人差指と親指の両手を間隔を置いて平行に  
左右に並らべると同時に掌をくるりと上向け  
に反転させる。「同じ」の手まねの場合人差